

地域社会への貢献

基本的な考え方

東邦ガスグループは、地域の多様なニーズや課題と向き合い、カーボンニュートラル化やレジリエンス向上をはじめとした持続可能な社会に貢献する取り組みを推進しています。東海三県(愛知県・岐阜県・三重県)を中心に、自治体等との連携をこれまで以上に深め、お客さまとの接点を更に強化するとともに、新たな価値の共創に取り組み、これからの地域に求められる課題を解決することで、地域における豊かさの実現に貢献します。

地域共生に向けた取り組み

自治体と包括連携協定を締結

カーボンニュートラル実現や次世代を担う子どもたちへの教育など地域課題の解決に資する活動に自治体と連携して取り組むため、岡崎市、羽島市、知立市、桑名市、安城市、みよし市と、包括連携協定を締結しました。

これまでに培ってきた知見・ノウハウを活かし、自治体と連携して地域共生に繋がる取り組みを強化することで、

締結先	協定名	締結時期
岡崎市	カーボンニュートラルの推進等に関する包括連携協定	2022年11月
羽島市	ゼロカーボンシティ実現に向けた包括連携協定	2023年 1月
知立市	SDGs推進に関する包括連携協定	2023年 1月
桑名市	ゼロカーボンシティ実現に向けた包括連携協定	2023年 1月
安城市	カーボンニュートラル推進等に関する包括連携協定	2023年 3月
みよし市	まちづくりに関する包括連携協定	2023年 3月

持続可能な社会の実現を目指していきます。



岡崎市との包括連携協定締結



安城市主催の環境啓発イベントでのステージ出展(包括連携協定に基づく取り組み)

TOPIC

安城市公共施設で使用する電力・都市ガスのカーボンニュートラル化

安城市の廃棄物処理施設「環境クリーンセンター」などでつくられたCO₂フリー電力およびカーボンニュートラル都市ガスを、市庁舎、小学校などの公共施設に2023年4月から順次供給を開始しています。

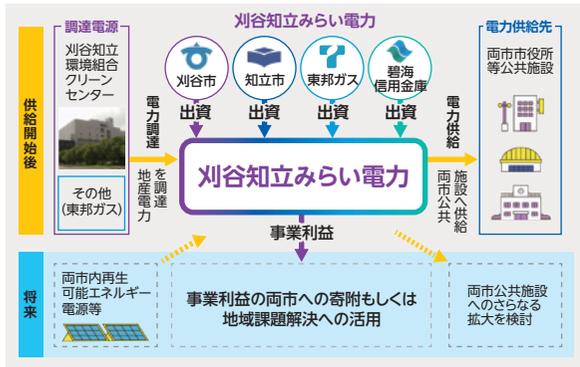
みよし市でのカーボンニュートラル都市ガスの導入

市庁舎、市民病院、市内の全小・中学校など20施設にカーボンニュートラル都市ガスを2023年4月から供給を開始しました。

地域新電力を通じた地域活性化

当社は、自治体等と共同で地域新電力会社を設立し、ごみ発電等の地域の再エネを公共施設等へ供給しています。これにより、地域のカーボンニュートラルおよびエネルギーの地産地消を推進しています。2022年度に新たに3社を設立し、計5社に拡大。今後、事業利益をさらなる再エネの普及に向けた再投資や、自治体への寄付等に還元することを通じて地域活性化に貢献します。

自治体名	電力会社名	設立年月
松阪市	松阪新電力(株)	2017年11月
岡崎市	(株)岡崎さくら電力	2020年 3月
鈴鹿市	鈴鹿グリーンエネルギー(株)	2022年 9月
刈谷市・知立市	刈谷知立みらい電力(株)	2022年11月
一宮市	いちのみや未来エネルギー(株)	2023年 1月



川谷知立みらい電力事業スキーム

一 自治体と技術協力に関する基本協定を締結

東邦ガスネットワーク(株)は、名古屋市上下水道局と施設および設備の維持管理や人材育成に関してさらなる連携を図るため、「技術協力に関する基本協定」を締結しました。

管路設備の維持管理や人材育成面で共通の業務課題を有することから、情報交換や共同点検等の連携・協力により、課題の早期解決や事業運営の効率化を目的

技術協力に関する基本協定 締結式



協定締結式の様子(2023年3月)

としています。今後もガス設備の維持管理や緊急対応等の保安対策を進めるとともに、関係機関との連携を一層強化し、引き続きお客さまに安全・安心な都市ガスをご利用いただけるよう努めていきます。

一 みなとアクルスを通じた地域社会への貢献

「みなとアクルス」は、水と緑に溢れ、人にやさしい歩いて楽しめる歩行者中心の環境と調和したまちづくりを進め、2018年9月の第1期まちびらき以降、多くの方がこのまちを訪れています。地域における社会課題を解決するため、みなとアクルスはコンセプト「人と環境と地域のつながりを育むまち」を掲げ開発を進めています。

みなとアクルスでは、エリア内のエネルギー需給を一括管理しており、2022年度はCO₂削減率69%(当初目

標は60%)を達成しました(1990年比)。

また、ZEH-M Oriented*を取得した分譲マンションが2023年3月に竣工し、既設265戸と同様に、238戸全戸に「エネファームtypeS」を設置。24時間定格運転し、発電電力の余剰分はエネルギーセンターを通じてまちの他の施設へ融通するなど、分散型電源の一つとして、エネルギーの地産地消を進めています。

今後、環境省の脱炭素先行地域として、名古屋市とともに、みなとアクルスにおいて、再生可能エネルギーの最大化と先進技術の導入に取り組みながら、地域課題を解決し地域の魅力と住民のくらしの質を向上させる地方創生に資する脱炭素のモデルとなる取り組みを進めていきます。

*ZEH-M Orientedとは、共用部を含む建物全体で、一次エネルギー消費量を20%以上削減したマンション



みなとアクルスの全景



脱炭素先行地域選定証

地域社会への貢献

―「みどりのカーテン」の普及活動

植物で建物の温度上昇抑制を図ることにより、省エネにつながる「みどりのカーテン」の普及に2014年度から取り組んでいます。2022年度は、ゴーヤの種子500袋と苗728本を名古屋市に寄贈し、各区で開催される環境イベント「環境デーなごや」の地域行事などを通じて、市民の皆さまに配布されました。



感謝状の授与式

―こどもや高齢者の見守り活動

こどもの犯罪被害を抑止するため、販売店、工事会社等とともに、「こどもを守る防犯活動」を行っています。約200の事業拠点等を「こども110番の家」として、危険を感じたこどもを保護するほか、車両約2,200台に「こども防犯パトロール協力車」ステッカーを掲示しています。

また、当社と東邦ガス・カスタマーサービス(株)は、高齢者の見守り活動への協力に関する自治体との協定を締結し、高齢者が安心して暮らせる地域づくりに協力しています。

―次世代層への教育

―学校教育の支援活動

東邦ガスネットワーク(株)では、次世代を担う子どもたちに、「エネルギー・防災」、「環境」、「食」について学ぶ出前授業を小・中学校で実施しています。

2022年度は、「考えよう!エネルギーと防災」、「地球環境と天然ガス」等のプログラムを24校54回実施し、2023年度からは省エネ調理を体験する「粉ふき芋をつくろう」を開始しました。また、地域団体等と連携した活動にも取り組んでいます。



出前授業の様子

―EPOC「環境教育講座」の開催

中部地域の産業界が中心となって設立した「環境パートナーシップ・CLUB(EPOC)」に参加し、こどもたちが環境問題を身近な問題としてとらえる事ができる環境教育講座を開講しています。

2022年度は、「ビオトープを通じて学ぶ生物多様性」

「展示館での見学・学習」の講座を計12回開催し、343人の小学生に参加いただきました。



環境教育講座の様子

―ガスエネルギー館での環境・エネルギー教育

当社が運営するガスエネルギー館では、「地球温暖化とエネルギー」をテーマに、楽しく学べる参加・体験型の展示等を通じ、小・中学生が環境の大切さを考える機会を提供しています。

また、「エコ教室」を毎月開催し、ビオトープの生き物観察や、リサイクル材料を利用したアート作品制作のほか、地域の大学と共同で生態系保全をクイズ形式で学ぶ教室などを実施しました。



地域の大学と共同で開催したエコ教室の様子



文化・スポーツ等を通じた地域貢献

読書感想文「こころの木」

小学生に読書の喜びを感じ、自然とのかかわりについて考えてもらうため、自然をテーマとした読書感想文「こころの木」を2001年度から実施しています。

2022年度は4,498作品の応募をいただき、感動大賞や東邦ガス100周年記念特別賞など計109作品を表彰しました。



表彰状授与の様子

ソフトテニス教室・野球教室の開催

当社ソフトテニス部では、小・中・高校生を対象に、学校訪問するなどしてテニス教室を実施しています。2022年度は、常滑市立南陵中学校にて開催された「テニスコートオープン記念事業」に選手らが講師として参加しました。

また、当社硬式野球部では、地元のこども向けに野球

教室を開催しています。2022年度は、みなとアクルスにて小学生以下を対象に、ストラックアウト、スピードガン測定を行い、約200人に参加いただきました。

今後もスポーツ振興活動を通して、地域貢献に積極的に取り組んでいきます。



ソフトテニス教室の様子



野球教室の様子

東邦ガス旗争奪少年野球大会

地域のスポーツ振興と中学生の皆さんの健全な育成に貢献するため、日本少年野球連盟(ボーイズリーグ)とともに1993年度から少年野球大会を開催しています。2022年度は29チームが参加し、熱戦が繰り広げられました。



少年野球大会の様子

